



10月号は、【マズローの欲求段階説】と自立活動の指導について考えてみたいと思います。

マズローの欲求段階説とは、アメリカの心理学者であるマズロー博士が人間の欲求を5つの階層に分類したもので、上位の要求が生まれるためには、それより下位の要求が満たされることが必要だと説明されています。

【生理的欲求】生命維持の根源的な欲求。摂食、睡眠、呼吸、排泄
生命維持に必要なものであるため新生児から存在します。



【安全の欲求】身の安全、不安・混乱からの解放が該当します。乳児期
では、養育者との関わりからこの要求を満たしています。



【所属と愛の欲求】家族や友達、クラスの仲間と共同体になりたい（加わりたい）と思う欲求。



【承認欲求】所属・愛の欲求が満たされると、承認欲求が芽生えます。親や友達から認められたいと思う欲求
です。



【自己実現の欲求】「こんなふうになりたい」と思う気持ちや「目標に向かって頑張りたい」と願う欲求です。

~マズローの欲求段階説と自立活動がつながるところ~

暑い、寒い、痛いなどの生理的欲求は【健康の保持】で指導できる課題です！！



⇒生理的欲求が課題になる場合は、健康の保持の学習内容を参考に指導の手立てを考えてみましょう

落ち着かない、そわそわ、不安などの安全欲求には【心理的な安定】で指導できる課題です！



⇒安心して過ごせる空間や居場所を作るなどして指導を進めていきたいですね。



友達との仲間づくり、気持ちの共有などの所属と愛の要求は【人間関係の形成】で！！



私たちが風邪をひいていたり、歯が痛かったり、家族が病気で苦しんでいたりすると「仕事を頑張ろう」とは
なかなかありませんよね。



今回は書ききれないところもありましたが、私たちがよく目標にする「自分で」「主体的に」という自己実現
の欲求の意欲を引き出すためには、下位の欲求を十分に満たす必要があります。自立活動の指導では、全ての
領域が関連しており、各区分の課題を合わせた形で重点課題を導き出していくことが基本ですが、これからは
今回紹介したマズローの欲求段階説のことも少し頭に入れて、指導の順番や内容について考えてみませんか！？

